

56	田中敦子	1932-2005(昭和7-平成17)	1985A	1985(昭和60)	綿布、アクリル系樹脂塗料	218.5×333.3
57	嵯峨篤	1970(昭和45)-	Repose/009-017	2008(平成20)	MDF、ウレタンコート(9枚組)	41.5×41.5×3.3-4.7
58	大庭大介	1981(昭和56)-	LOG (Icefall)	2014(平成26)	綿布、アクリル	228.0×522.0

味：豊かな実りの世界と静物画

59	ジャック・カロ	1592-1635	大狩猟○	1614-21	紙、エッチング	19.4×46.1
60	ジャック・カロ	1592-1635	『ボヘミアン』より「宴の準備」○	1622頃	紙、エッチング	12.4×23.7
61	ジャック・カロ	1592-1635	『大受難伝』より「最後の晩餐」○	1620年代中頃	紙、エッチング	11.4×22.2
62	ジョン・マーティン	1789-1854	ミルトン作「失楽園」より「イヴを誘惑するサタン」●	1825-27	紙、メゾチント、エッチング	19.1×27.7
63	ジョン・マーティン	1789-1854	ミルトン作「失楽園」より「禁断の果実をアダムにすすめるイヴ」●	1824	紙、メゾチント、エッチング	18.9×28.1
64	サミュエル・パーマー	1805-1881	ケント州、アンダーリヴァーのホップ畑	1833-34頃	板、油彩、テンペラ	19.0×26.0
65	カミーユ・ピサロ	1830-1903	ライ麦畑、グラット=コックの丘、ボントワーズ○	1877	キャンヴァス、油彩	60.3×73.7
66	エドヴァルド・ムンク	1863-1944	ヴァンバイア●	1895-1902	紙、色彩リトグラフ、色彩木版	38.5×56.3
67	モーリス・ド・ヴラマンク	1876-1958	小麦畑と赤い屋根の家	1905	キャンヴァス、油彩	60.0×73.0
68	太田喜二郎	1883-1951(明治16-昭和26)	帰り路(樵婦帰路)	1913(大正2)	キャンヴァス、油彩	122.0×115.0
69	曾宮一念	1893-1994(明治26-平成6)	梨畑道	1924(大正13)	キャンヴァス、油彩	59.0×71.5
70	宮本三郎	1905-1974(明治38-昭和49年)	農婦	1941(昭和16)頃	キャンヴァス、油彩	52.0×45.0
71	平賀亀祐	1889-1971(明治22-昭和46)	風景(プロマー・ドワルノーネ)●	1955-65(昭和30-40)頃	キャンヴァス、油彩	38.2×55.0
72	小林和作	1888-1974(明治21-昭和49)	梨畑	1965-75(昭和40年代)頃	キャンヴァス、油彩	32.8×60
73	栗原忠二	1886-1936(明治19-昭和11)	静物		キャンヴァス、油彩	65.1×80.5
74	高島達四郎	1895-1976(明治28-昭和51)	イカ●		紙、鉛筆	23.0×33.8
75	小出権重	1887-1931(明治20-昭和6)	静物	1917(大正6)	キャンヴァス、油彩	78.4×90.8
76	小林猶治郎	1897-1990(明治30-平成2)	一獻淡味	1930(昭和5)	キャンヴァス、油彩	91.0×106.0
77	曾宮一念	1893-1994(明治26-平成6)	種子静物	1934(昭和9)	キャンヴァス、油彩	60.6×72.7
78	山口源	1896-1976(明治29-昭和51)	さくら●	1943(昭和18)	紙、多色木版	33.0×45.0
79	山口源	1896-1976(明治29-昭和51)	果実○	1947(昭和22)	紙、多色木版	22.0×28.8
80	原勝郎	1889-1966(明治22-昭和41)	静物(洋梨と壺)	1950(昭和25)頃	キャンヴァス、油彩	44.8×52.8
81	杉山寧	1909-1993(明治42-平成5)	ペルシャ三彩皿・蜜柑○		紙本着色	49.7×32.8
82	香月泰男	1911-1974(明治44-昭和49)	牡蠣とナイフ	1951(昭和26)	キャンヴァス、油彩	21.0×27.0
83	香月泰男	1911-1974(明治44-昭和49)	茶の実	1960-1973(昭和40-48)頃	キャンヴァス、油彩	27.5×21.2
84	安井曾太郎	1888-1955(明治21-昭和30)	鯛●	1953(昭和28)頃	紙、鉛筆、水彩	28.3×36.7
85	青木達弥	1917-1981(大正6-昭和56)	洋梨子	1979(昭和54)	キャンヴァス、油彩	45.5×37.9
86	森村泰昌	1951(昭和26)-	『批評とその愛人(1)~(7)』より	1989(平成元)	カラー写真、額縁	各90.0×106.0

Sense センス・オブ・ワンダー

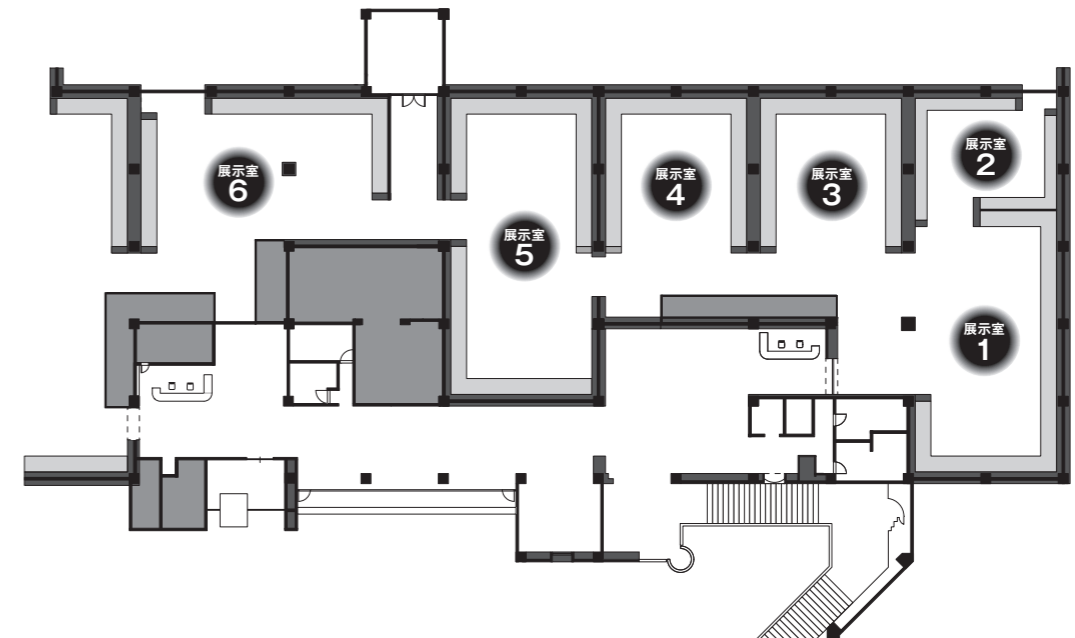
感覚で
味わう
美術
of

「センス・オブ・ワンダー：感覚で味わう美術」展による。この展覧会は、五感（視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚）による作品鑑賞の楽しみをコンセプトとしています。展示室ごとに、皆さんの五感を刺激する、次のようなテーマを設けています。展示室のトップバッターは、草間彌生《水上の蛍》。全身で体感する、まさしく本展を象徴する作品ですが、鑑賞する順番は皆さんの自由です。

「センス・オブ・ワンダー」とは、作家で海洋生物学者のレイチェル・カーソンが、自然を発見する喜びについて語った同名のベストセラーにおいて、「神秘さや不思議さに目を見はる感性」を言い表した言葉です。芸術を媒介として皆さんの感性が刺激される、あるいは皆さんの鋭い感覚によって新しい作品の味わい方ができる、そんな展覧会体験をしていただければと思います。

Wonder 2023年(令和5年) 4/18[火]-7/9[日]

- 展示室1 「全身体感」「触れてみたい 匂いを嗅いでみたい：彫刻の素材」
- 展示室2 「絵の中の音に耳を澄ましてみよう：楽の音、都市の静寂とざわめき」
- 展示室3 「触れてみたい 匂いを嗅いでみたい：立体作品の行方」
- 展示室4 「絵の中の音に耳を澄ましてみよう 似た風景を思い出してみよう：自然の味わい」
- 展示室5 「どんな感触なんだろう？：触ってみたいくなる、さまざまな平面作品の表面」
- 展示室6 「味：豊かな実りの世界と静物画」



出品リスト

*No. 3. 植木茂《トルソ》のみ個人蔵、ほかは全て静岡県立美術館所蔵品です。

*No. 51. 斎藤義重《作品2》は、1階エントランスの名品コーナーに展示しています。

*会期中、展示替えがあります。4月18日（火）～5月21日（日）○、5月23日（火）～7月9日（日）●。

*状態により、出品作品が変更になる場合があります。

No.	作家名	生没年	作品名	制作年(元号)	材質・技法	寸法(cm) <div>平面:タテ×ヨコ</div> 立体:高さ×ヨコ×奥行
-----	-----	-----	-----	---------	-------	--

全身体感

1	草間彌生	1929(昭和4)－	水上の蜚	2000(平成12)	鏡、金属、電球、木、アクリル板、水	320.0×467.0×467.0
---	-------------	------------	-------------	------------	-------------------	-------------------

2	オーギュスト・ロダン	1840－1917	考える人(小型)	1880(鑄造1920年以前)	ブロンズ	37.2×28.6×23.6
3	植木茂	1913－1984(大正2－昭和59)	トルソ	1956(昭和31)	木	159.3×58.3×35.0
4	柳原義達	1910－2004(明治43－平成16)	坐る	1960(昭和35)	ブロンズ	129.5×44.0×75.0
5	高田博厚	1900－1987(明治33－昭和62)	水浴	1961(昭和36)	ブロンズ	80.5×27.5×26.0
6	淀井敏夫	1911－2005(明治44－平成17)	野の兎	1967(昭和42)	石膏	32.0×34.0×26.0
7	淀井敏夫	1911－2005(明治44－平成17)	野の兎	1967(昭和42)	ブロンズ	32.0×34.0×23.0
8	淀井敏夫	1911－2005(明治44－平成17)	幼いきりん・堅い土	1985(昭和60)	石膏	135.0×109.0×73.0

絵の中の音に耳を澄ましてみよう：楽の音、都市の静寂とざわめき

9	クロード・ロラン	1604/05－1682	笛を吹く人物のいる牧歌的风景	1630年代後半	キャンヴァス、油彩	99.7×133.3
10	クロード・ロラン	1604/05－1682	農民の踊り(小) ○	1637頃	紙、エッチング	13.6×19.6
11	ジョヴァンニ・ドメニコ・ティエポロ	1727－1804	『エジプトへの逃避』より「天使に称揚される紋章」 ●	1750－53頃	紙、エッチング	18.9×23.6
12	ワシリー・カンディンスキー	1866－1944	《冷たいかたちのある即興》のための習作	1914頃	紙、水彩、グワッシュ、鉛筆	33.0×24.0
13	栗原忠二	1886－1936(明治19－昭和11)	セントポール	1916(大正5)頃	キャンヴァス、油彩	80.0×100.0
14	栗原忠二	1886－1936(明治19－昭和11)	ロンドン郊外		キャンヴァス、油彩	50.0×60.7
15	赤城泰舒	1889－1955(明治22－昭和30)	ギターを弾く少年	1928(昭和3)	紙、テンペラ	64.7×49.5
16	二橋美衛	1896－1977(明治29－昭和52)	婦人奏楽 ●	20世紀中頃(昭和初期)	銅製、彫金打出し	各扇77.8×24.2
17	青木達弥	1917－1981(大正6－昭和56)	ドオモ(夜景)	1965－70年代(昭和40年代－50年代初)頃	キャンヴァス、油彩	72.7×60.6
18	澤田政廣	1894－1988(明治27－昭和63)	笛人	1971(昭和46)	木、彩色	89.2×65.0×58.8
19	二見彰一	1932(昭和7)－	青いホルン、夜	1981(昭和56)	紙、アクアセント	29.6×23.5
20	二見彰一	1932(昭和7)－	海のホルン	1986(昭和61)	紙、アクアセント	23.6×32.7
21	二見彰一	1932(昭和7)－	ホルンのユモレスク	1989(平成元)	紙、アクアセント	32.0×23.0
22	二見彰一	1932(昭和7)－	パッサとジャズと	1989(平成元)	紙、アクアセント	23.0×32.3
23	二見彰一	1932(昭和7)－	ふたつのホルンのために(1)	1994(平成6)	紙、アクアセント	19.6×29.1
24	秋野不矩	1908－2001(明治41－平成13)	ブラーミンの家 ○	1984(昭和59)	紙本着色	113.5×212.0

触れてみたい 匂いを嗅いでみたい：立体作品の行方

25	カール・アンドレ	1935－	鉛と亜鉛のスクエア	1969	鉛、亜鉛	各0.8×20×20(0.8×200×200)
26	大久保婦久子	1919－2000(大正8－平成12)	潤	1970(昭和45)	皮	78.7×68.2
27	大久保婦久子	1919－2000(大正8－平成12)	渚	1995(平成7)	皮	130.0×80.0
28	中村宏	1932(昭和7)－	総銅製機甲本イカルス	1973(昭和48)	銅版、銅凸版	30.0×21.0×8.5
29	草間彌生	1929(昭和4)－	最後の晚餐	1981(昭和56)	ミクストメディア(テーブル1、イス6、綿布、綿、既製品 ほか)	テーブル:107.0×215.0×108.0椅子:各80.0×45.0×54.0
30	名和晃平	1975(昭和50)－	PixCell-Deer#47	2016(平成28)	ミクストメディア	136.1×69.5×58.5

絵の中の音に耳を澄ましてみよう 似た風景を思い出してみよう：自然の味わい

31	ジャック・ド・ゲインII世	1565－1629	『四大元素』より「土(地)」 ○	1588頃	紙、エングレービング	16.2×20.5
32	ジャック・ド・ゲインII世	1565－1629	『四大元素』より「水」 ●	1588頃	紙、エングレービング	16.5×20.5
33	ジャック・ド・ゲインII世	1565－1629	『四大元素』より「空気(風)」 ○	1588頃	紙、エングレービング	16.5×20.4
34	ジャック・ド・ゲインII世	1565－1629	『四大元素』より「火」 ●	1588頃	紙、エングレービング	16.4×20.5
35	クロード＝ジョゼフ・ヴェルネ	1714－1789	嵐の海	1740頃	キャンヴァス、油彩	89.0×167.0
36	ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	1775－1851	パツランツァ、マツジョーレ湖	1846－48頃	紙、水彩	36.8×54.0
37	ギュスターヴ・クールベ	1819－1877	ピュイ・ノワールの溪流	1865	キャンヴァス、油彩	75.0×90.0
38	ポール・シニャック	1863－1935	サン＝トロベ、グリモーの古城	1899	キャンヴァス、油彩	73.0×91.7
39	ラファエル・コラン	1850－1916	想い	1904	キャンヴァス、油彩	59.0×81.2
40	安井曾太郎	1888－1955(明治21－昭和30)	森の中	1911－13(明治44－大正2)	キャンヴァス、油彩	38.0×45.0
41	長谷川潔	1891－1980(明治24－昭和55)	南仏風景	1920年代－30年代(大正末－昭和期)	キャンヴァス、油彩	54.0×65.0
42	佐分真	1898－1936(明治31－昭和11)	雪のグリェンデルワルド	1927(昭和2)	キャンヴァス、油彩	37.5×45.2
43	青木達弥	1917－1981(大正6－昭和56)	薄	1941(昭和16)	キャンヴァス、油彩	116.8×91.0
44	小糸源太郎	1887－1978(明治20－昭和53)	春雪	1953(昭和28)	キャンヴァス、油彩	83.0×116.0
45	海老原喜之助	1904－1970(明治37－昭和45)	かぜ	1954(昭和29)	キャンヴァス、油彩	162.2×131.0
46	ジョアン・ミツェル	1925－1992	湖	1955頃	キャンヴァス、油彩	203.2×254.5
47	曾宮一念	1893－1994(明治26－平成6)	スペインの野	1968(昭和43)	キャンヴァス、油彩	73.0×91.0

どんな感触なんだろう?：触ってみたくなる、さまざまな平面作品の表面

48	モーリス・ルイス	1912－1962	ベス・アイン	1958	キャンヴァス、アクリル	232.0×333.0
49	草間彌生	1929(昭和4)－	無題(No. White A.Z.)	1959(昭和34)	キャンヴァス、油彩	232.5×359.0
50	鳥海青児	1902－1972(明治35－昭和47)	壁の修理	1959(昭和34)頃	キャンヴァス、油彩	79.5×116.0
51	斎藤義重	1904－2001(明治37－平成13)	作品2	1960(昭和35)	合板、油彩(ドリルを使用)	169.0×109.0
52	嶋本昭三	1928－2013(昭和3－平成25)	1961-3	1961(昭和36)	キャンヴァス、フタル酸エナメル樹脂塗料、ガラスほか	181.0×137.0
53	元永定正	1922－2011(大正11－平成23)	作品	1963(昭和38)	キャンヴァス、油彩、水性樹脂絵具	125.7×183.1
54	白髪一雄	1924－2008(大正13－平成20)	屋島	1965(昭和40)	キャンヴァス、油彩	182.0×227.0
55	李禹煥	1936－	線より	1979(昭和54)	キャンヴァス、岩絵具、にかわ	182.0×227.0